

2025年4月21日 交通脱炭素シンポジウムⅣ

～利用者と歩む交通産業のカーボンニュートラル～

閉会挨拶

運輸総合研究所 理事長の上原でございます。皆様お疲れのところ恐縮でございますが、閉会に当たり一言ご挨拶申し上げます。まずは、本地基調講演をいただいた、

- ・ 武蔵野大学 特任教授、一橋大学 名誉教授かつ当研究所研究アドバイザーの山内先生、

さらに、パネルディスカッションにご登壇いただきました、

- ・ 日本航空株式会社の亀山さま
- ・ DHL ジャパン株式会社の小島さま
- ・ 味の素株式会社の森さま
- ・ 株式会社日本政策投資銀行の和田さま
- ・ 国土交通省の清水さま
- ・ そして、当研究所客員研究員でウィーン工科大学交通研究所の柴山先生 大変ありがとうございました。

さらに、長時間にわたりご参加いただきました多くの視聴者の皆様、そして日頃より当研究所の活動をご支援いただいている日本財団さまに深く御礼申し上げます。

本日のシンポジウムでは、交通産業のカーボンニュートラルに向

けて、国の政策や各社の取組み、スコープ3の事例などにつきまして、海外の事例も含めてご紹介いただきました。

また、本日の議論では、交通だけではなく、他の関連分野からも参加をいただき、サプライチェーン全体の排出量削減や消費者の皆様の理解の促進、行動変容の必要性などの課題につきまして、マーケティング手法や教育の場、あるいは公的支援の活用なども含めましてご議論いただきました。これを機に環境価値が評価される市場そして、そうした社会が創出されることを期待したいと思います。

運輸総合研究所では先ほど谷口研究員から報告させていただきました「交通産業 GX ロードマップに関する調査研究」の詳細報告の他に観光、自動車、航空に関して弊所の調査研究を紹介する研究報告会を5月29日に開催致します。こちらについてもぜひご参加いただければと思います。

なお、本日のシンポジウムのアンケートへのご協力も、よろしくお願い申し上げます。本日は、最後までご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

以上